

科目名	デジタル戦略論	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	木村 誠		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-32-C-2-470019	経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること			
授業の目的	情報技術（IT）を活用したデジタルトランスフォーメーション（DX）の本質は三種類のデジタル化プロセス（表現、接続、集約）を通じた量的変化から質的变化への移行であり、事業者側と消費者側の双方で広範囲に進行している。デジタル戦略は、デジタルトランスフォーメーションを事業および企業の競争優位性と捉え、その達成方策を選択する考え方である。本授業は、デジタル戦略策定のための基本概念を解説し、最新枠組み（カスタマージャーニーマップ、プラットフォームキャンパス等）を用いた事業設計の演習を行う。				
学修到達目標	<p>◎知識・理解の観点：21世紀の経営用語である顧客経験価値、マルチサイドマーケット、クロスサイドネットワーク効果、デジタルディスラプションの考え方を理解できる。機械学習（AI）、プラットフォーム、クラウドソーシングのパワーを事業に活用する考え方を理解できる。</p> <p>◎思考・判断の観点：継目のない顧客経験であるカスタマージャーニーについて考え、デジタルマーケティング方策を評価できる。プラットフォームが仲介するエコシステムの編成について考え、参加奨励方策を評価できる。</p> <p>◎技能・表現の観点：最新Webアプリを用いて、カスタマージャーニー・マップを作成できる。プラットフォームキャンパスの作成を通じて、ビジネスモデルの分析および設計ができる。</p>				
実務経験との関連性	米国製ソフトウェア販売代理店業務（営業企画推進）の経験を活かし、カスタマージャーニーマップ、プラットフォームキャンパスについて解説。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション：本授業の進め方。デジタル戦略の考え方。週次課題レポートの説明
第2回	Amazon.comの成功モデル：ベゾスの紙ナプキンモデルとMooreの4ギアモデル。週次課題レポートの説明
第3回	顧客マネジメントの進化：顧客経験価値。顧客エンゲージメントマトリクス（CEM）。週次課題レポートの説明

第4回	カスタマージャーニーの考え方：顧客経験プロセス連鎖モデル。UXPressiaの利用手順解説。週次課題レポートの説明
第5回	カスタマージャーニーマップ(CJM)：Uber Eats事例のビデオ鑑賞。週次課題レポートの説明
第6回	マルチサイドマーケット理論：支援サイトと課金サイド。クロスサイドサイドネットワーク効果。チキンエッグ問題。週次課題レポートの説明
第7回	マルチサイドマーケット事例分析：Apple iPod, iTunes, iTunes Store（ビデオ鑑賞）。週次課題レポートの説明
第8回	ビジネスモデル5潮流：価値創造のWhyとHow。価値提案。ソーシャルビジネスモデル。週次課題レポートの説明
第9回	ビジネスモデルの変革：破壊的イノベーション。デジタルトランスフォーメーション(DX)。週次課題レポートの説明
第10回	デジタルディスラプション：バリュー3形態とデジタルビジネスモデル。適応戦略と事業設計。週次課題レポートの説明
第11回	スマートサービスシステム枠組み：サービスドミナントロジック。スマートサービスキャンパス。週次課題レポートの説明
第12回	機械学習(AI)と事業設計：ネットワーク効果とデータフィードバック効果。Stic h Fix事例解説。週次課題レポートの説明
第13回	2サイドマーケット事例分析：クロスサイドネットワーク効果モデル。Uber事例解説（ビデオ鑑賞）。週次課題レポートの説明

第14回	プラットフォームキャンパス：構造要素間関係性。ビジネスモデルキャンパスとの差異。Airbnb事例分析。週次課題レポートの説明
第15回	期末課題レポートの解説
第16回	期末課題レポートの質疑応答

授業時間外の学習

【予習】時間・内容	Trelloを用いて次回のチェックリスト確認。事前配布資料の確認。教科書の該当箇所の通読。これらに2時間を要する。
【復習】時間・内容	教科書の該当箇所の確認。週次課題レポートに取り組むための調査、整理と思考、図示化と記述、そして提出。これらに2時間を要する。

成績評価

評価基準・方法	週次課題レポート（60%）、期末課題レポート（40%）による総合的評価を行う。6回以上の欠席者は対象外として評価しません。
フィードバック方法	毎回、前回の週次課題レポートについて振り返り、解説する。Slackの「help-デジタル戦略論」チャンネルでインタラクティブに対応する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	PBL (課題解決型学習)

教科書/参考書	教科書：根来龍之『集中講義デジタル戦略 テクノロジーバトルのフレームワーク』日経BP社，2019年。2200円
受講上の留意点等	前提科目として「経営情報論」受講が望ましい。教科書の目次通りに授業は進行しません。ラップトップPCを持参しないと演習時の授業進行に参加できません。
JABEE	